

鴨川市教育委員会 5 月定例会会議録

1 日 時 平成22年5月20日(木) 開会 午後3時30分
閉会 午後5時15分

2 場 所 鴨川市ふるさとシアター

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 佐々木久之
(4) 根本新太郎 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 増田 勝己
(4) 熊切 隆夫 (5) 久根崎素弘 (6) 山田 一郎

5 委員報告

- ・佐々木委員から、県市町村教育委員会連絡協議会研修会での講演に関して、講師から身勝手な行動の増加や人間関係の希薄化の大きな要因は家庭問題にあることが多いとの指摘があり、本市としても家庭のあり方を議論していく必要があると考えたとの報告がなされた。また、県北西部の市において外国語指導助手の事業業務委託で千葉労働局からは是正指導を受けたことに関して、本市の外国語指導助手の雇用についても留意する必要があること、鴨川中学校の学校便りを保護者として読んでいるが、子どもから親まで勉強になるような興味を引く記事が盛り込まれ、内容が充実していることについて報告がなされた。
- ・根本委員から、県市町村教育委員会連絡協議会研修会に参加し、教育が成果をあげるには時間とコストがかかるものだと改めて認識したとの報告がなされた。
- ・佐久間委員から、県市町村教育委員会連絡協議会研修会に参加し、学力低下や問題行動の原因を分析した上で、一人一人に対応した効果的な指導のあり方について十分議論していく必要があると考えたとの報告がなされた。
- ・村上委員から、ゆとり教育がもたらした負の面として子どもの学力低下があるが、本市の子どもたちの学力の状況を具体的に把握する必要がある、またこれに関連して昨年、一昨年と実施した全国学力・学習状況調査で小学校6年生として調査に参加した児童が中学校3年生になったときの学力の状況を追跡することが学力向上策を検討する際に必要ではないかとの問題提起がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、昭和46年の中教審答申と昭和59年から3年間設置された内閣の諮問機関「臨時教育審議会」の答申により、「ゆとりと充実」を目指す教育がその後展開されてきたが、新学習指導要領では学力低下への懸念から授業時数や指導内容について見直しがあり、来年度から小学校で使用される教科書のページ数が大幅に増えたこと、一部の地域で土曜日に授業を行うなどのゆとり教育を見直す動きがあることについて報告がなされた。また、全国学力・学習状況調査における抽出校以外の参加はそれぞれの市町村等の判断となったことから、市町村教育委員会や各学校が創意工夫しながら学力状況の把握をしていく必要があるとの考えが示された。
- ・その他に、第1回市議会臨時会で、東条小学校耐震・大規模改修の施工業者が承認されたこと、長狭学園を全国都道府県教育長協議会理事が視察に訪れたこと、早稲田大学から図書の寄贈を受けたこと、市内4中学校の運動部が春季大会でそれぞれよい成績を収めたこと、国際交流協会の総会が行われ、今年度のマニトワックへの訪問について話し合われたこと、千葉ロッテマリーンズが秋季キャンプを鴨川で行うことになり関係者が総合運動施設を視察したこと、長狭高校で開かれた学校づくりの取組の一環として授業公開が行われたことについて、報告がなされた。
- ・福田教育次長から、本市の小中学校では県標準学力テストを実施しており、日常の評価と併せて学力の状況把握に努めていること、児童生徒の意識調査については本年度10月に全国学力・学習状況調査の質問事項を参考に本市独自の調査を行う予定であることについて報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市社会教育委員の委嘱について」

- ・久根崎生涯学習課長から、充て職で委嘱している社会教育委員4名の退任に伴い、新たに4名を委嘱することについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・佐々木委員から、社会教育委員の活動内容と委員数に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より、社会教育委員からは社会教育全般について意見をいただいていること、「鴨川市社会教育委員の設置等に関する条例」では委員数を15名以内としているが他の審議会等でも委員数を削減する方向にあるので、10名の方に委員を委嘱したいとの説明がなされた。

- ・議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「鴨川市立図書館協議会委員の委嘱について」

- ・久根崎生涯学習課長から、充て職で委嘱している市立図書館協議会委員2名の退任に伴い、新たに2名を委嘱することについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・議案第2号については、質疑なく全会一致で可決された。

(3) 議案第3号 「鴨川市視聴覚センター運営委員及び専門委員の委嘱について」

- ・久根崎生涯学習課長から、平成22年度の市視聴覚センター運営委員4名と専門委員5名を幼稚園・小・中学校及び社会教育関係者に委嘱することについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・根本委員から、運営委員と専門委員の役割に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より、運営委員には教育委員会の諮問に応じセンターの企画、運営について調査・審議をいただいております、一方専門委員には研究活動及び教材の選択、作成をお願いしているとの説明がなされた。
- ・村上委員から、視聴覚センターの所在地に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より、主に視聴覚センターを利用している幼稚園や小中学校の職員が教育委員会に来た際に貸出や返却ができるように、視聴覚センターを平成20年10月に中央公民館からふるさとシアターに移転したとの説明がなされた。
- ・長谷川教育長から、教育委員会内で設置している協議会や審議会等の活性化を図るための方策を検討するとともに、委員会活動の教育委員会会議への報告も充実させる必要があるとの意見が出された。

- ・議案第3号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(4) 議案第4号 「学校評議員の委嘱について」

- ・滝口学校教育課長から、鴨川市学校評議員運営規程に基づき、市内小中学校長から平成22年度学校評議員として推薦のあった者の委嘱について、資料をもとに説明がなされた。
- ・佐々木委員から、学校評議員会の年間開催回数に関する質問があり、滝口学校教育課

長より、評議員会の開催は年間3回程度であるが、評議員にはその他に学校行事等にも参加していただいているとの説明がなされた。佐久間委員からは入学式後に評議員と学校が意見交換をしているところもあるとの説明があった。

・議案第4号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

- (5) 議案第5号 「平成23年度使用教科用図書安房採択地区協議会規約の承認について」
- (6) 議案第6号 「平成23年度使用教科用図書安房採択地区協議会委員の選出と承認について」
- (7) 議案第7号 「平成23年度使用教科用図書安房採択地区協議会専門調査委員の推薦について」

・福田教育次長から、平成23年度使用教科用図書安房地区採択協議会を開催するにあたり、安房地区採択協議会より示された規約の承認、協議会委員の選出と承認、専門調査委員の推薦について、資料をもとに説明がなされた。

・村上委員から、来年度より使用する教科書の次期改訂に関する質問があり、福田教育次長より、文部科学省検定済教科書は通常4年毎に改訂が行われるとの説明がなされた。

・長谷川教育長から、教科用図書安房地区採択地区協議会の委員構成に関する質問があり、関係市町の教育委員会、管内校長、教諭及び保護者の代表者16名で構成することになるとの説明がなされた。

・議案第5号、議案第6号、議案第7号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

8 その他

(1) 福田教育次長から、平成21年度教育委員会の点検と評価について、次回の定例教育委員会会議にて協議を進めたいので、事務局案を事前に配付するとの説明がなされた。

(2) 各課長から、資料をもとに6月の行事予定についての説明がなされた。また、滝口

学校教育課長から、6月の定例教育委員会会議について説明がなされ、6月25日（金）に開催することになった。

村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成22年6月25日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白